

かみひもリース

横浜市三ツ沢公園青少年野外活動センター



「かみひも」は、梱包するひもとしてよく使われています。特徴は細いひもが何本か合わさって作られており、きれいに裂いて使えます。また、水がのりの代わりになります。

この特徴を活かして工作すると、いろいろな形ができます。ここでは、リース作りを紹介します。

<対象年齢> 小学校低学年から

<所要時間> 約1時間～

<準備するもの>

かみひも(1m)・セロテープ・はさみ・マジック・飾り物

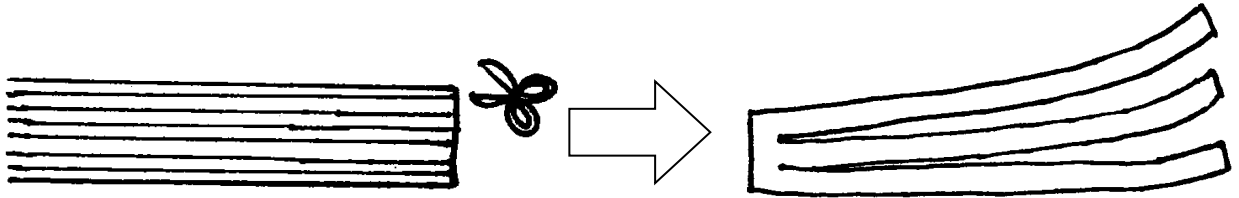
<応用編>

◎1本のリースを縦に3つに切る方法と1本のリースを3本使う方法があります。

<かみひものリース 作り方>

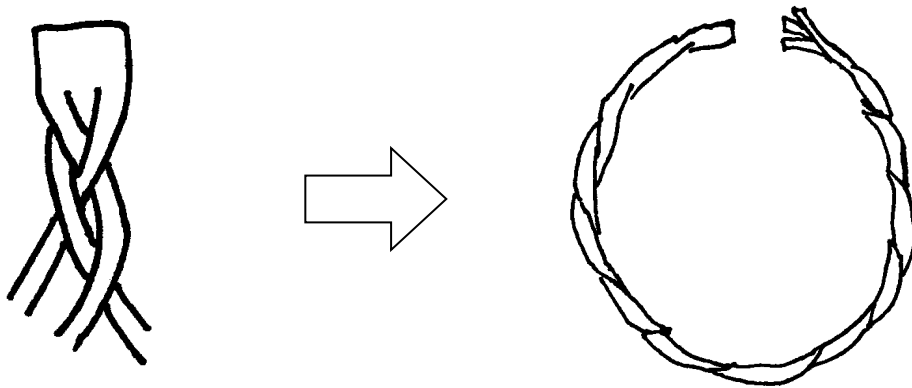
①かみひもを縦^{たて}3分の1^{ぶん}ずつにハサミで切ります。

※最後の1cmは切らずに残しておきます。



②かみひもを三つ編みにし、両^{りょう}端^{はし}をセロテープで止めます。

※少しゆるめに編むときれいな円になります。



③自然物^{しぜんぶつ}やモール^{とう}等をボンド^{つか}を使ってとめ、飾り付け^{かざりつけ}をして

ぶら下げる糸^{いと}をつければできあがり。

※最初に上下を決めて、
どこに、何を付けるか
決めてから止めていき
ましょう。

